

令和5年

火災・救急・救助
などの活動概況



©稲沢市いなッピー
火の用心1

稲沢市消防本部

※利用上の注意

構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ず100とはならない場合があります。

目 次

稲沢市管内概要	1
119番受信概況	2
緊急出動概況	3
訓練指導及び調査概況	5
予防概況	7

火災

火災概況	10
年別出火件数・年別損害額	11
署別出火件数・月別出火件数	12
曜日別出火件数・時間別出火件数	13
火災による死傷者数	14
出火原因別出火件数・出火原因の推移	15

救急

救急概況	16
種別ごとの救急出場件数	17
署別救急出場件数・月別救急出場件数	18
医療機関別搬送人員・時間別救急出場件数及び搬送人員	19
傷病程度別搬送人員	20
収容所要時間別搬送人員	21
曜日別救急出場件数及び搬送人員	22

救助

救助概況	23
------------	----

稲沢市管内概要

面積・人口・世帯数

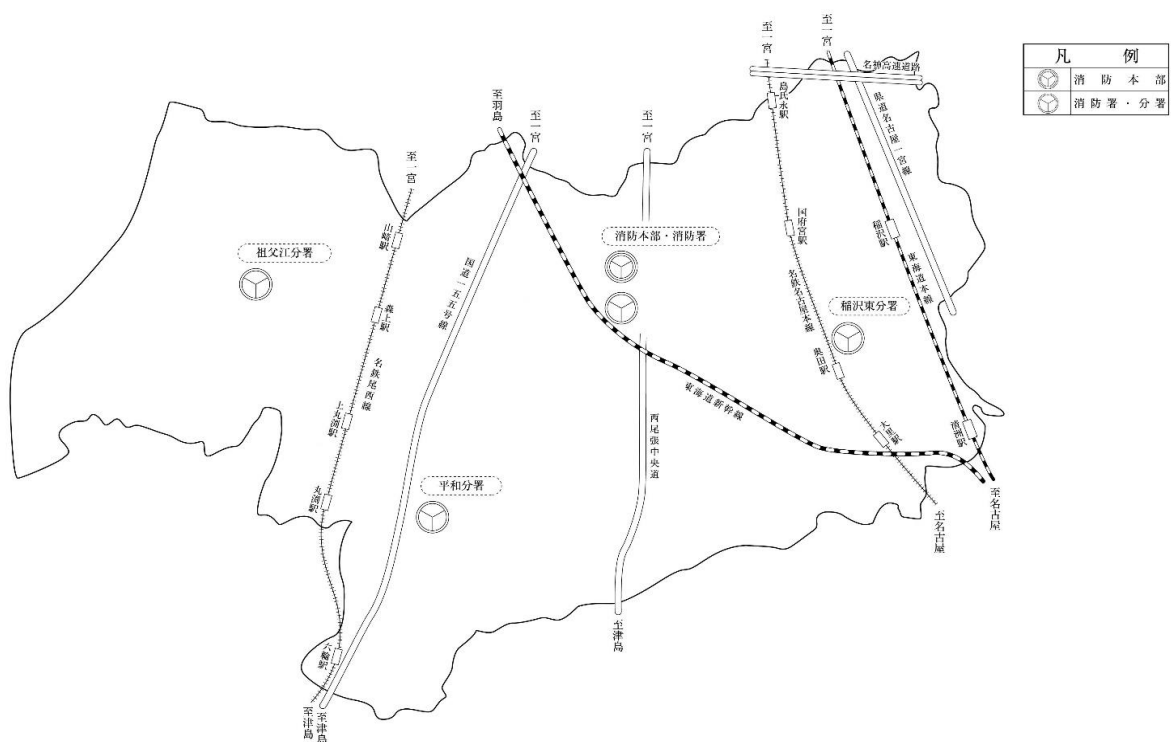
令和6年1月1日現在

区分	面積(k㎡)	人口(人)			世帯数
		男	女	合計	
稲沢市	79.35	66,167	67,425	133,592	56,768

消防本部・消防署・消防指令センター 名称・所在地

名称	所在地
消防本部・消防署	稲沢市船橋町鯉坪321番地1
稲沢東分署	稲沢市井之口沖ノ田町37番地
祖父江分署	稲沢市祖父江町上牧下川田454番地
平和分署	稲沢市平和町中三宅高道34番地
一宮市・稲沢市消防指令センター	一宮市緑一丁目1番10号(一宮市消防本部内)

消防本部・消防署配置図



119番受信概況

119番受信状況は、第1表のとおり9,932件で、前年と比較して893件増加している。1日当たりの平均受信件数は27.2件で、前年より2.4件増加している。増加した理由としては、救急、その他の件数が増加したためである。

119番受信区分では、固定電話からの119番が4,430件で44.6%、携帯電話からの119番が5,502件で55.4%となっている。

第1表 119番受信状況

年別	区分	火災	救急	救助	その他	合計
令和3年	固定電話	13	3,044	10	973	4,040
	携帯電話	57	2,627	60	917	3,661
	合計	70	5,671	70	1,890	7,701
令和4年	固定電話	35	3,326	14	1,075	4,450
	携帯電話	94	3,142	49	1,304	4,589
	合計	129	6,468	63	2,379	9,039
令和5年	固定電話	32	3,264	10	1,124	4,430
	携帯電話	80	3,657	55	1,710	5,502
	合計	112	6,921	65	2,834	9,932

(注)「その他」は、警戒、訓練通報、間違い、病院問い合わせ等

緊急出動概況

消防部隊の緊急出動状況は、第1表のとおり9,215件で、前年と比較して686件増加している。

1日当たりの平均出動件数は約25件となっている。

また、火災、救急及び救助出動以外に1,751件の緊急出動をしている。緊急出動を種別に見ると、救急出場が7,175件(77.9%)と最も多い。次いで、救急支援出動が1,635件(17.7%)救助出動が189件(2.1%)の順となっている。

第1表 緊急出動状況 (件)

種別 署別		火災	救急	救助	警戒	救急支援	合計	比率(%)
		本署	令和4年	41	1,666	70	30	429
	令和5年	39	1,803	104	37	464	2,447	26.6
稲沢東分署	令和4年	38	3,048	32	24	611	3,753	44.0
	令和5年	24	3,208	50	38	675	3,995	43.4
祖父江分署	令和4年	9	965	11	18	182	1,185	13.9
	令和5年	15	1,011	18	11	238	1,293	14.0
平和分署	令和4年	20	1,063	7	15	250	1,355	15.9
	令和5年	22	1,153	17	30	258	1,480	16.1
合計	令和4年	108	6,742	120	87	1,472	8,529	100
	比率(%)	1.3	79.0	1.4	1.0	17.3		
	令和5年	100	7,175	189	116	1,635	9,215	100
	比率(%)	1.1	77.9	2.1	1.3	17.7		

- (注) 1 「警戒出動」とは、ガス漏れ、怪煙、即時通報、漏油、障害物及びその他の災害の発生が予想されるときに出動するものをいう。
- 2 「救急支援出動」とは、119番通報時の救急要請において心肺機能停止傷病者と判断されたとき、交通事故等の発生場所が幹線道路のとき、その他、救急支援隊の出動が必要と判断されたときに、消防隊を出動させるものをいう。

緊急出動件数を月別に見ると、第2表のとおりである。

火災、救急及び救助出動以外では、救急支援出動は月平均で約136件、警戒出動は月平均で約9件出動している。

第2表 月別緊急出動状況 (件)

種別・署別		月別												小計	合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災	本署	4	8	2	5	1	4	2	2	1	4	4	2	39	100
	稲沢東分署	3	4	2	2		4			3	3	1	2	24	
	祖父江分署	1	4	1	3	2		1	1			2		15	
	平和分署	5	3	4	2	1	2	1	1			1	2	22	
	小計	13	19	9	12	4	10	4	4	4	7	8	6	100	
救急	本署	156	130	152	129	138	153	160	182	165	159	134	145	1,803	7,175
	稲沢東分署	271	249	249	220	228	236	301	321	331	250	267	285	3,208	
	祖父江分署	103	70	80	72	88	80	99	90	70	82	91	86	1,011	
	平和分署	106	92	95	92	96	67	103	103	111	95	98	95	1,153	
	小計	636	541	576	513	550	536	663	696	677	586	590	611	7,175	
救助	本署	6	7	13	12	4	6	11	8	9	8	9	11	104	189
	稲沢東分署	1	5	8	4	2	4	4	6	4	4	3	5	50	
	祖父江分署	3	1		3	2	2			1	2	2	2	18	
	平和分署	3	1	3	2		1	2				1	4	17	
	小計	13	14	24	21	8	13	17	14	14	14	15	22	189	
警戒	本署	1		2	6	1	4	7	5	1	5	2	3	37	116
	稲沢東分署	1	2	4	3	2	2	3	2	3	3	6	7	38	
	祖父江分署			1	1	1			1	1	4	1	1	11	
	平和分署	4		1	1	1	2	1	6	4	3	1	6	30	
	小計	6	2	8	11	5	8	11	14	9	15	10	17	116	
救急支援	本署	33	28	44	31	40	40	37	36	45	46	38	46	464	1,635
	稲沢東分署	55	61	68	49	52	52	56	61	65	53	54	49	675	
	祖父江分署	24	22	18	18	23	18	20	20	20	14	21	20	238	
	平和分署	34	21	18	16	13	17	23	20	22	28	26	20	258	
	小計	146	132	148	114	128	127	136	137	152	141	139	135	1,635	
合計	814	708	765	671	695	694	831	865	856	763	762	791	9,215		

訓練指導及び調査概況

訓練指導及び調査状況は、第1表のとおり合計860件、前年と比較して249件増加している。
 訓練指導については、自主防災会、事業所及び教育機関の合計289団体に対して訓練指導を実施した。

調査状況については、地理水利調査を387件（45.0％）実施した。

第1表 訓練指導及び調査状況

(件)

種別 署別		消防団訓練指導	自主防災会訓練指導	事業所訓練指導	教育機関訓練指導	普通救命講習会	消防署見学	地理水利調査	枯草調査	はしご車接梯調査	合計	比率(%)
本署	令和4年	29	9	39	40	40	18	61	1	1	238	39%
	令和5年	54	24	83	42	40	12	112	1	1	369	43%
稲沢東分署	令和4年	9	8	17	17	8	1	87	4	1	152	25%
	令和5年	23	22	34	21	14	3	99			216	25%
祖父江分署	令和4年	22	1	7	12	3	1	56	3		105	17%
	令和5年	11	5	9	10	4	1	69			109	13%
平和分署	令和4年	17	5	12	6	2	2	71	1		116	19%
	令和5年	10	10	21	8	4	2	107	4		166	19%
合計	令和4年	77	23	75	75	53	22	275	9	2	611	100
	比率(%)	12.6	3.8	12.3	12.3	8.7	3.6	45.0	1.5	0		
	令和5年	98	61	147	81	62	18	387	5	1	860	100
	比率(%)	11.4	7.1	17.1	9.4	7.2	2.1	45.0	0.6	0.1		

(注) 訓練指導、講習会及び見学は、各種団体等からの依頼に基づき行うものをいう。

月別訓練指導及び調査状況は、第2表のとおりである。

第2表 月別訓練指導及び調査状況

(件)

種別・署別		月別												小計	合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
消防団 訓練指導	本署				4	22	11	14	3					54	98
	稲沢東分署				7	9	7						23		
	祖父江分署					7	4						11		
	平和分署				5	4	1						10		
	小計	0	0	0	16	42	23	14	3	0	0	0	0	98	
自主防災会 訓練指導	本署			3	1	1	1	1		3	6	6	2	24	61
	稲沢東分署				1	2	1	1	2	3	5	5	2	22	
	祖父江分署							1		1	1	2		5	
	平和分署					1				2	1	4	2	10	
	小計	0	0	3	2	4	3	2	2	9	13	17	6	61	
事業所 訓練指導	本署	1	1	4	1	7	13	5	7	12	16	12	4	83	147
	稲沢東分署	5	1		1	1	4	6		2	5	5	4	34	
	祖父江分署		1	1		1	2			1	1	1	1	9	
	平和分署			1		3	5			2	4	3	3	21	
	小計	6	3	6	2	12	24	11	7	17	26	21	12	147	
教育機関 訓練指導	本署	1			3	6	2	2	3	9	5	9	2	42	81
	稲沢東分署	1	1			2	3		1	2	5	5	1	21	
	祖父江分署						3		1		3	2	1	10	
	平和分署						4				1	3		8	
	小計	2	1	0	3	8	12	2	5	11	14	19	4	81	
普通救命 講習会	本署	1	1	2	3	6	6	4	6	5	2	2	2	40	62
	稲沢東分署		1			2			3	3	4		1	14	
	祖父江分署							1	1		1	1		4	
	平和分署					1	1				1		1	4	
	小計	1	2	2	3	9	7	5	10	8	8	3	4	62	
消防署見学	本署	1	1				1				6	3		12	18
	稲沢東分署										1	1	1	3	
	祖父江分署											1		1	
	平和分署											1	1	2	
	小計	1	1	0	0	0	1	0	0	0	7	6	2	18	
地理水利調査	本署	17	5	17	5	3	14	4	5	13	9	2	18	112	387
	稲沢東分署	2	1	18	9	14	7	10	9	6	7	15	1	99	
	祖父江分署	5	2	4		4	10	5	3	10	13	4	9	69	
	平和分署	12	2	12	10	8	15	7	2	8	10	10	11	107	
	小計	36	10	51	24	29	46	26	19	37	39	31	39	387	
枯草調査	本署											1		1	5
	稲沢東分署													0	
	祖父江分署													0	
	平和分署			2									2	4	
	小計	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5	
はしご車 接梯調査	本署											1		1	1
	稲沢東分署													0	
	祖父江分署													0	
	平和分署													0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
合計		46	17	64	50	104	116	60	46	82	107	98	70	860	

予 防 概 況

消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況は、第1表のとおりである。

1日当たりの届出状況は平均12件であり、届出状況を見ると消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書が最も多く、1,780件（40.7%）で、次いで道路工事届出書が1,029件（23.5%）となっている。

なお、届出の一部は電子申請、電子メール及び郵送による受付を実施している。

第1表 消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況

届 出 項 目	件 数	比 率
工 事 整 備 対 象 設 備 等 着 工 届 出 書	122	2.8
消 防 用 設 備 等（ 特 殊 消 防 用 設 備 等 ） 設 置 届 出 書	172	3.9
消 防 用 設 備 等（ 特 殊 消 防 用 設 備 等 ） 点 検 結 果 報 告 書	1,780	40.7
防 火 管 理 者 選 任（ 解 任 ） 届 出 書	254	5.8
消 防 計 画 作 成（ 変 更 ） 届 出 書	262	6.0
道 路 工 事 届 出 書	1,029	23.5
消 防 職 員 の 派 遣 ・ 指 導 ・ 消 防 訓 練 実 施 届 出 書	367	8.4
変 電 ・ 蓄 電 ・ 発 電 ・ 急 速 充 電 設 備 設 置 届 出 書	39	0.9
禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請 書	20	0.5
催 物 開 催 届 出 書	5	0.1
露 店 等 の 開 設 届 出 書	68	1.6
溶 接 溶 断 作 業 届 出 書	112	2.6
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出 書	70	1.6
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	60	1.4
ヒートポンプ・サウナ・ボイラー・給湯湯沸設備設置届出書	12	0.3
合 計	4,372	100

区分別消防同意状況は、第2表のとおりである。

第2表 区分別消防同意状況

(件)

区分	月別												合計	比率
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
新 築	7	4	12	14	6	11	13	14	7	6	5	12	111	81.0
増 築	2	2	4	3	3	2	1	2		2	1	3	25	18.2
改 築													0	0
用 途 変 更												1	1	0
そ の 他													0	0
合 計	9	6	16	17	9	13	14	16	7	8	6	16	137	100

消防用設備等の検査状況は、第3表のとおりである。

第3表 消防用設備等の検査状況

(件)

消防用設備等	月別												合計	比率	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
消 火 設 備	屋 内 消 火 栓 設 備	2	4	3	6	1	2	2	2	4	1	2	1	30	22.6
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備						2	1			1		4	3.0	
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備		1			1		1			1		4	3.0	
	屋 外 消 火 栓 設 備										1	1	2	1.5	
	泡 消 火 設 備												0	0	
	粉 末 消 火 設 備					1							1	1	
	ガ ス 消 火 設 備												0	0	
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備										1		1	1	
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	3	2	6	3	5	5	3	3	3	6	1	5	45	33.8
	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	1	1			1							3	2.3	
	非 常 警 報 器 具 ・ 設 備		1		1			1	1		1		5	3.8	
	非 常 放 送 設 備			1		1		1	1		1		6	4.5	
	漏 電 火 災 警 報 器												0	0	
避 難 設 備	避 難 器 具		1						1	1	1		4	3.0	
	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識	2	6	2	4	2	1	2		3	2	2	27	20.3	
そ の 他	消 防 用 水											1	1	1	
	連 結 送 水 管												0	0	
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備												0	0	
	排 煙 設 備												0	0	
合 計	8	16	12	14	12	10	11	8	11	14	7	10	133	100	

危険物製造所等は288施設であり、その内の危険物製造所等の許可・届出状況は、第4表のとおりである。

第4表 危険物製造所等の許可・届出状況 (件)

製造所等別 区分		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		
許 可	設 置		2											2	
	変 更		2	2	1	2						5		31	43
仮 使 用 承 認			2	2	1	2						5		29	41
完 成 検 査	設 置		1									1			2
	変 更		2	3	1	2						6		34	48
予 防 規 程 認 可												3		1	4
軽 微 な 工 事 届						1						13		60	74
品 名 ・ 数 量 ・ 倍 数 変 更 届			1											4	5
保 安 監 督 者 選 任 ・ 解 任 届			11	3		2						12		3	31
廃 止 届				2								2		2	6
合 計		0	21	12	3	9	0	0	0	47	0	0	164	256	

火 災 概 況

火災の状況を前年と比較すると第1表のとおり、出火件数は45件で17件減少し、損害額も減少している。

火災種別ごとで見ると、その他の火災が25件で、全体の55.6%と最も高い割合となっている。

第1表 令和5年中の火災状況と前年との比較

区 分	単位	令和5年(A)	令和4年(B)	増減(C) (A-B)
出火件数	件	45	62	△17
建物火災		18	24	△6
車両火災		2	2	0
その他の火災		25	36	△11
焼損棟数	棟	29	40	△11
全焼		13	9	4
半焼		3	5	△2
部分焼		7	3	4
ぼや		6	23	△17
建物焼損床面積	m ²	988	843	145
死者	人	8	1	7
負傷者		3	3	0
り災世帯	世帯	9	15	△6
り災人員	人	18	31	△13
損害額	千円	87,237	102,770	△15,533
建物火災		86,857	97,453	△10,596
車両火災		170	4	166
その他の火災		210	5,313	△5,103
出火率	%	3.4	4.6	△1.2

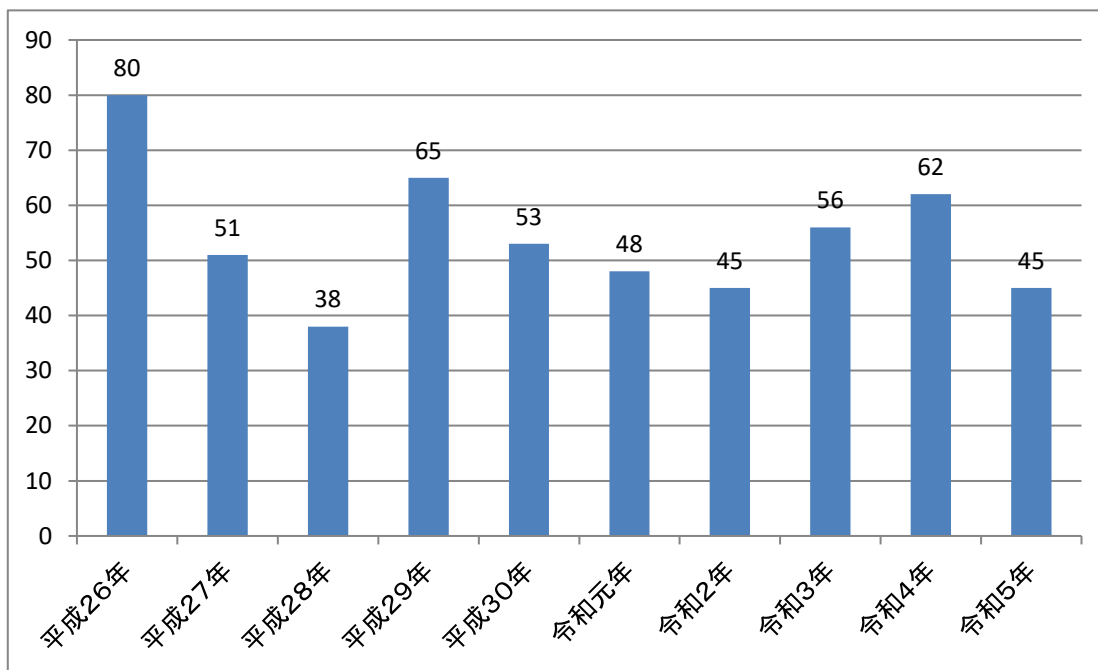
- (注) 1 死者は、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者をいう。
2 出火率は、人口1万人当たりの出火件数の割合をいう。

年別出火件数

過去10年間の出火件数の推移をみると第1図のとおり、平成26年の出火件数が80件と最も多くなっており、最も少ない年は平成28年で38件である。

令和5年の1日当たりの出火件数は0.12件であり、8.1日に1件の割合で火災が発生したことになる。

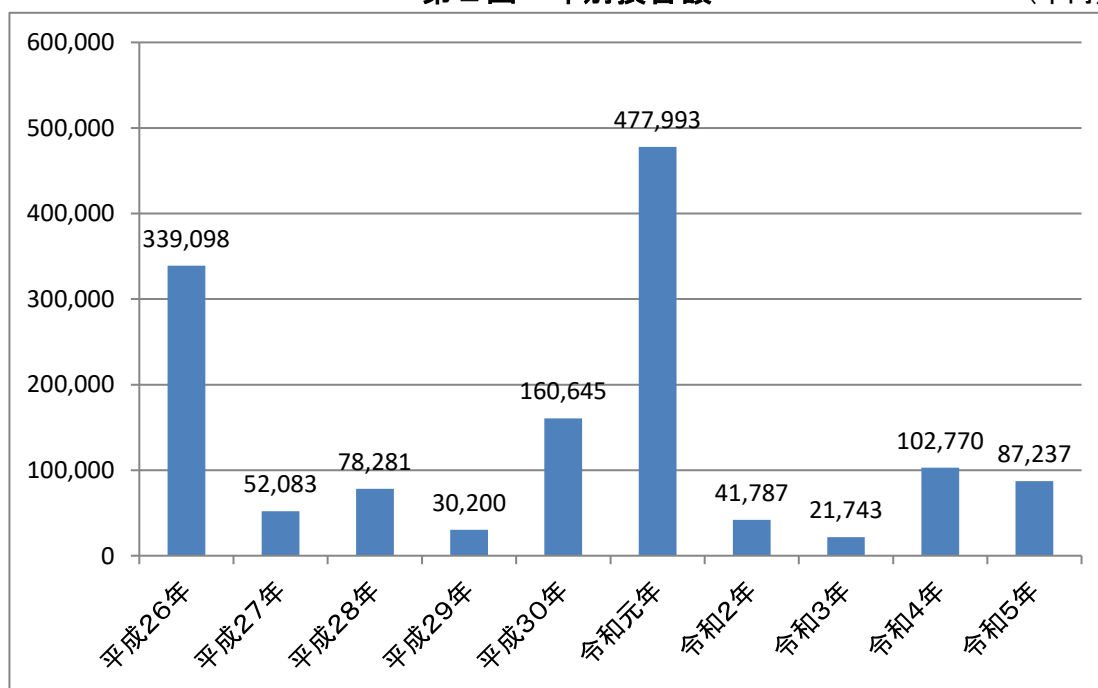
第1図 年別出火件数 (件)



年別損害額

過去10年間の損害額の推移をみると第2図のとおり、令和元年の損害額が477,993千円と最も多く、令和3年は21,743千円と最も少なくなっている。

第2図 年別損害額 (千円)



署別出火件数

出火件数の45件を署別にみると第2表のとおり、稲沢東分署が14件と最も多く、本署の9件が最も少なくなっている。

署別出火件数を前年と比較すると、稲沢東分署、本署は合計で26件減少しており、祖父江分署、平和分署は合計で9件増加している。

第2表 署別出火件数前年比較

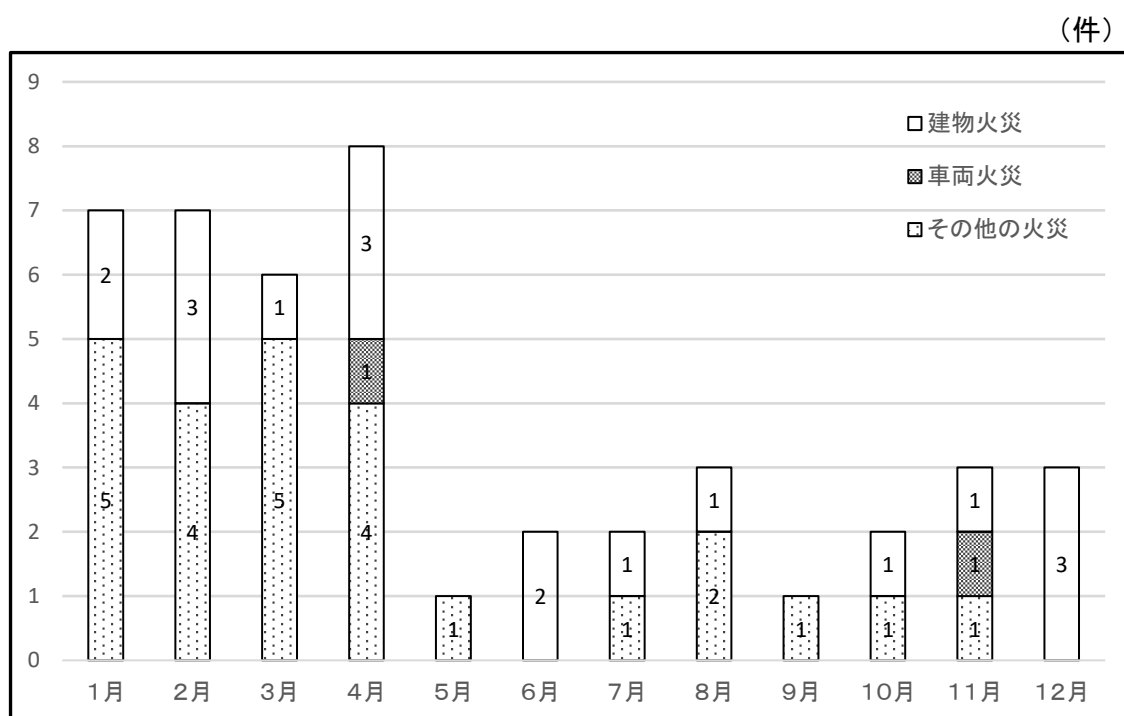
	令和5年(A) 出火件数	令和4年(B) 出火件数	増減(C) (A-B)	増減(%) (C/B)
本署	9	24	△15	△62.5
稲沢東分署	14	25	△11	△44.0
祖父江分署	10	4	6	150.0
平和分署	12	9	3	33.3
合計	45	62	△17	△27.4

月別出火件数

出火件数の45件を月別にみると第3図のとおり、4月が8件と最も多く発生した。

火災種別ごとにみると建物火災は2月、4月及び12月が3件、車両火災は4月と11月が1件、その他の火災は1月と3月に5件と最も多く発生している。

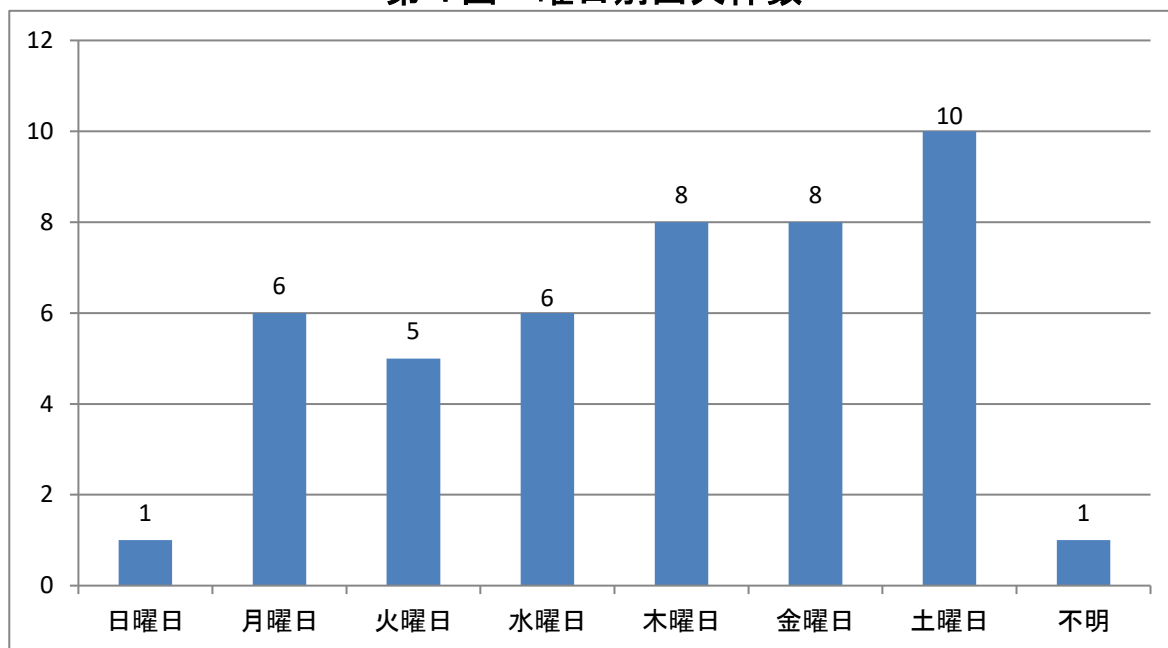
第3図 月別出火件数



曜日別出火件数

出火件数の45件を曜日別にみると第4図のとおり、土曜日が10件と最も多く発生した。

第4図 曜日別出火件数 (件)

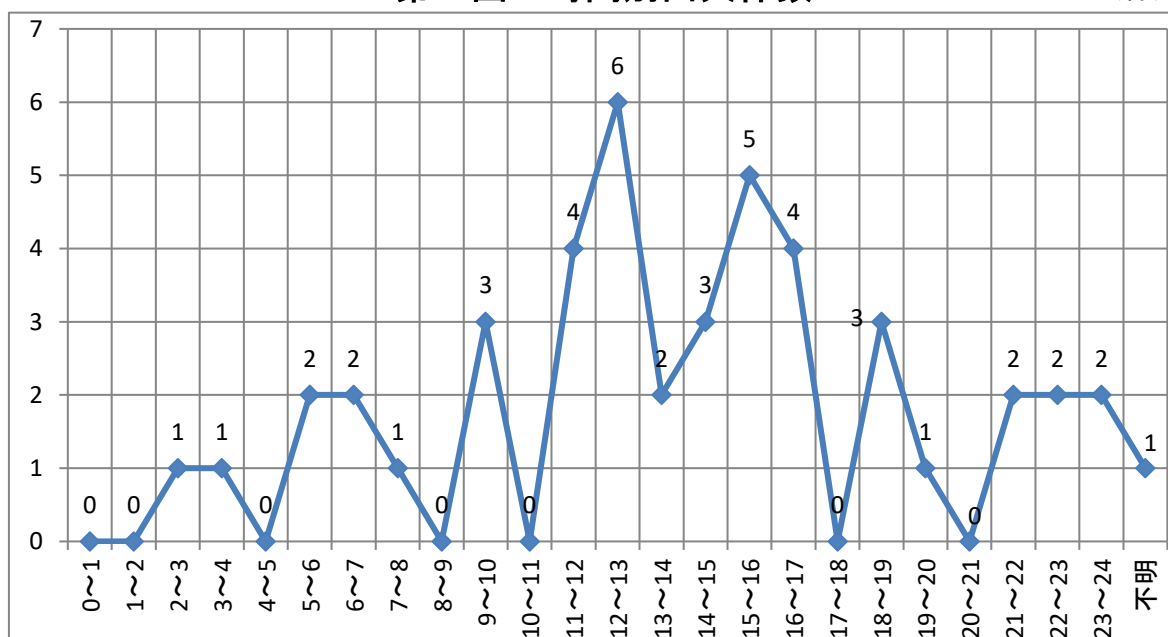


時間別出火件数

出火件数の45件を時間別にみると第5図のとおり、12時から13時までが最も多く6件発生しており、深夜から早朝にかけての時間帯は出火件数は少ない。

なお、時間不明については、火災が鎮火した後に消防に通報があり、出火時間の特定が困難なものである。

第5図 時間別出火件数 (件)



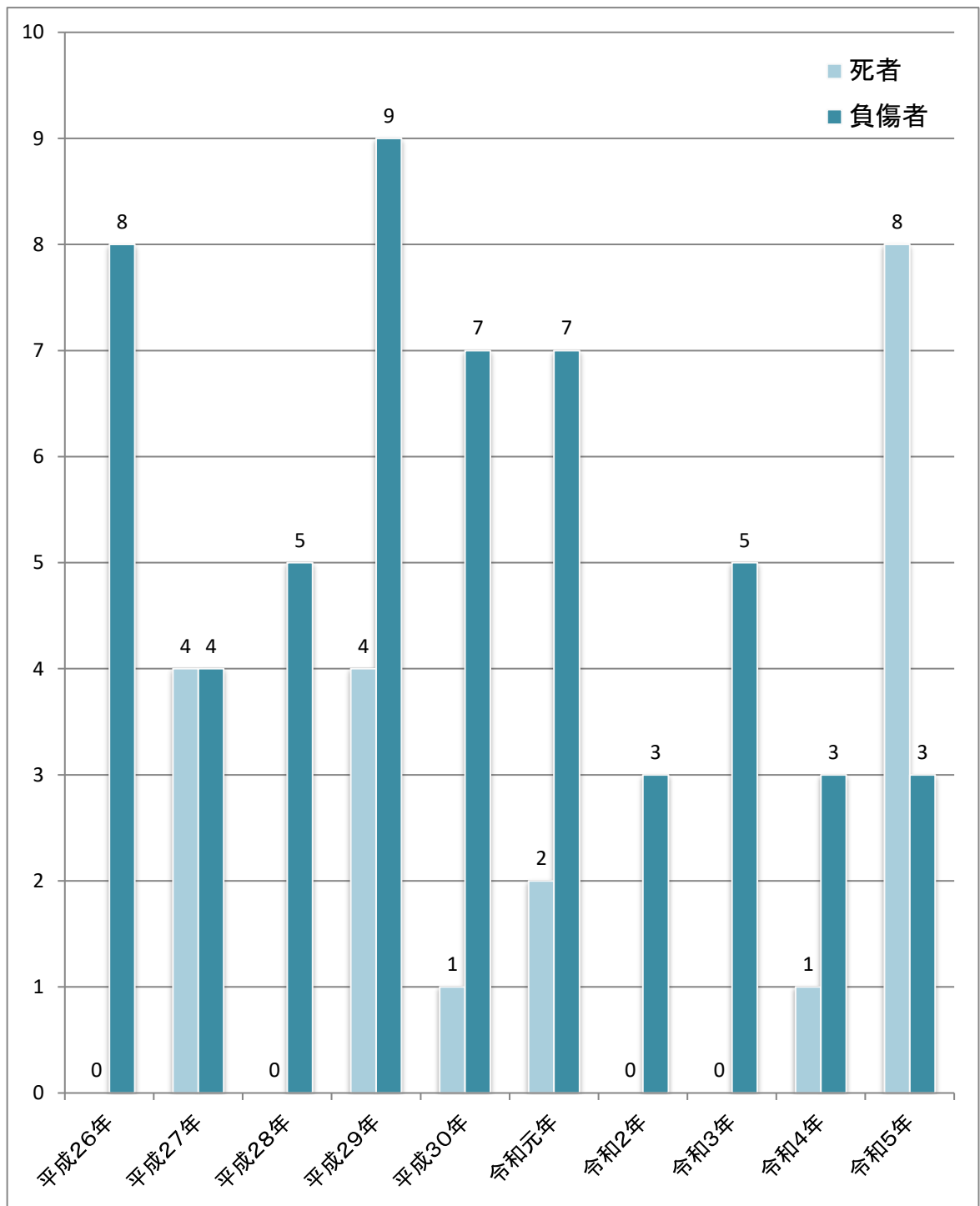
火災による死傷者数

令和5年の火災による死傷者発生状況については、死者8人、負傷者3人であった。

過去10年間の死傷者数は第6図のとおり、死者数は令和5年が8人と最も多くなっている。

負傷者数は、平成29年が9人と最も多く、次いで平成26年の8人の順となっている。

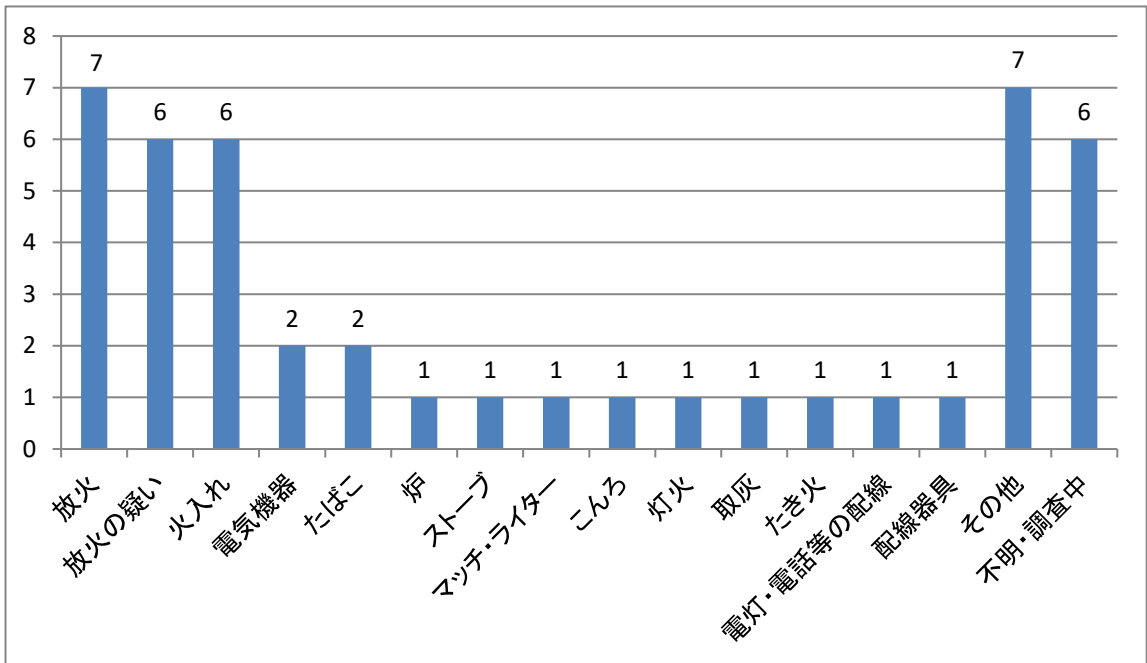
第6図 年別死傷者数 (人)



出火原因別出火件数

出火件数の45件を出火原因別にみると第7図のとおり、放火・放火の疑いによる火災を合わせると13件と多く発生し、全体の約29%を占めている。

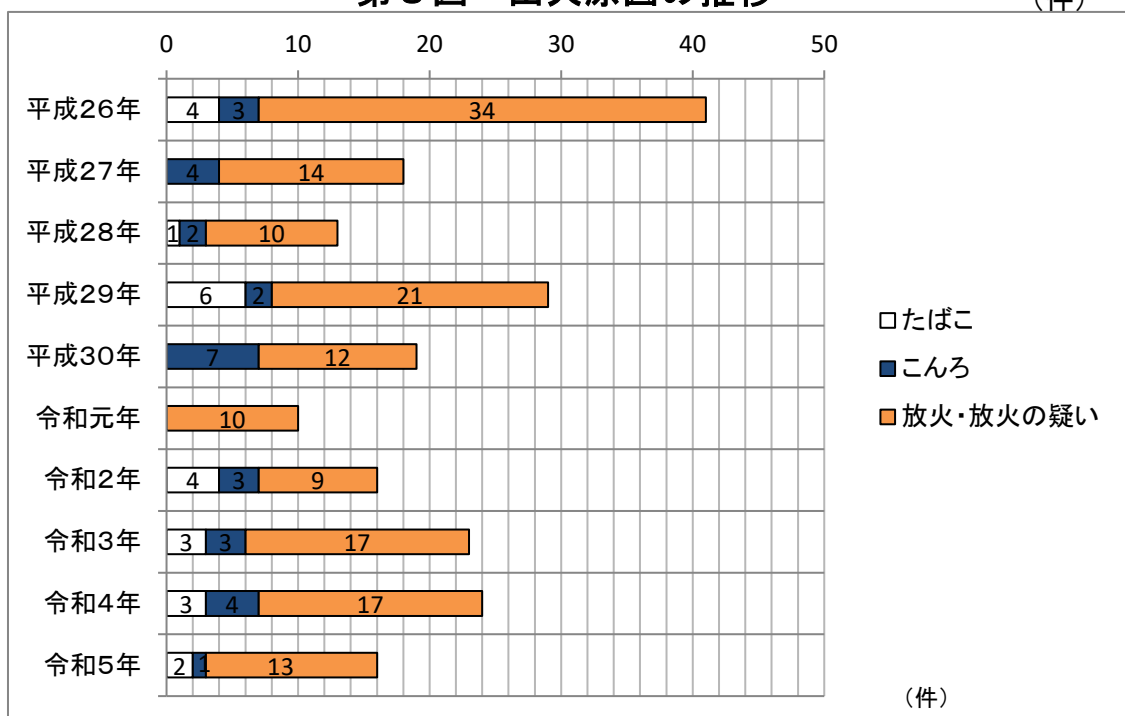
第7図 出火原因別出火件数 (件)



出火原因の推移

過去10年間の主な出火原因の推移をみると第8図のとおり、毎年、放火・放火の疑いによるものが出火原因の上位を占め、平成26年が34件と最も多く発生している。

第8図 出火原因の推移 (件)



救 急 概 況

救急業務実施状況は、第1表のとおり救急出場件数は7, 175件で前年と比較して433件増加している。1日当たりの平均出場件数は、約20件の割合で救急隊が出場したことになる。

また、搬送人員は6, 889人で前年と比較して431人増加している。

なお、当消防本部管内の住民約19人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

第1表 救急業務実施状況

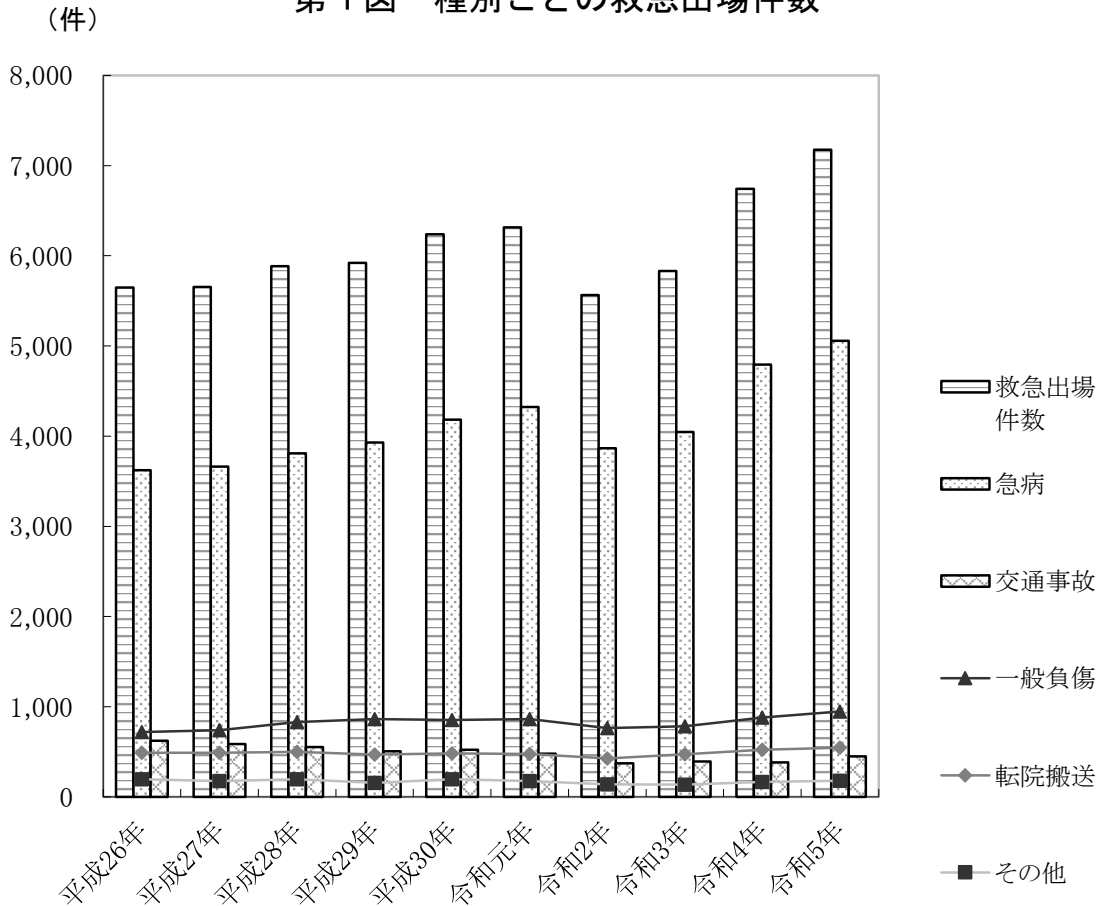
事故種別 署別		急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	そ の 他						合 計		
						火災	水難	労働災害	運動競技	加害	自損行為		その他	
本署	令和4年	件数	1,237	101	201	89	13	1	12	4		7	1	1,666
		人員	1,163	107	194	89	1		12	4		4	1	1,575
	令和5年	件数	1,302	137	241	83	10		14	7		9		1,803
		人員	1,240	136	235	81	3		14	7		6		1,722
稲沢東分署	令和4年	件数	2,146	173	396	256	12		28	8	9	17	3	3,048
		人員	2,041	175	390	256	1		29	8	5	8		2,913
	令和5年	件数	2,265	180	435	258	13	2	17	11	8	17	2	3,208
		人員	2,153	179	427	258	3	1	17	11	6	12	1	3,068
祖父江分署	令和4年	件数	654	43	133	113	1	1	12	5	1	1	1	965
		人員	628	42	131	113	1	1	12	5	1	1		935
	令和5年	件数	688	59	117	119	3	3	5	10	1	5	1	1,011
		人員	671	63	118	119	1		4	10	1	5		992
平和分署	令和4年	件数	756	66	148	66		1	16	4	2	4		1,063
		人員	728	69	148	65			17	4	1	3		1,035
	令和5年	件数	801	73	154	85	3	3	24	6	1	3		1,153
		人員	772	73	145	85		1	24	6		1		1,107
合 計	令和4年	件数	4,793	383	878	524	26	3	68	21	12	29	5	6,742
		人員	4,560	393	863	523	3	1	70	21	7	16	1	6,458
	令和5年	件数	5,056	449	947	545	29	8	60	34	10	34	3	7,175
		人員	4,836	451	925	543	7	2	59	34	7	24	1	6,889

※「その他」は自然災害、資器材輸送及びその他の種別を含む

種別ごとの救急出場件数

過去10年間の救急出場件数を種別ごとに見ると、急病が5,056件と最も多く、次いで、一般負傷、転院搬送の順となっている。

第1図 種別ごとの救急出場件数



第2表

種別 \ 年別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
救急出場件数	5,647	5,653	5,884	5,923	6,238	6,316	5,565	5,830	6,742	7,175
急病	3,621	3,661	3,810	3,928	4,184	4,323	3,867	4,045	4,793	5,056
交通事故	622	587	551	507	522	478	371	391	383	449
一般負傷	719	739	830	862	854	864	762	784	878	947
転院搬送	490	490	499	470	482	477	426	474	524	545
その他	195	176	194	156	196	174	139	136	164	178

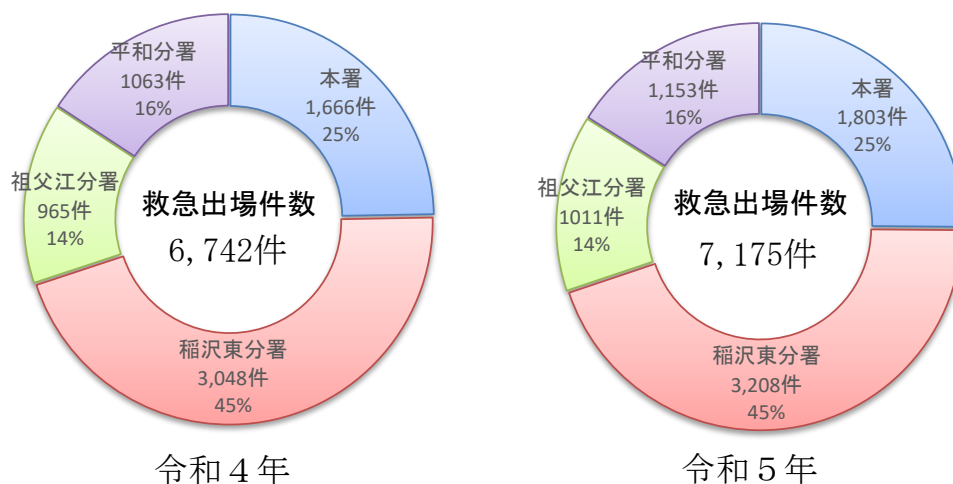
※第1図、第2表の「その他」はP16事故種別その他を参照

署別救急出場件数

救急出場件数 7,175 件を署別に見ると第 2 図のとおり稲沢東分署が 3,208 件と最も多く、次いで本署、平和分署、祖父江分署の順となっている。

前年と比較すると、本署は 137 件、稲沢東分署は 160 件、祖父江分署は 46 件、平和分署は 90 件の増加で、合計 433 件の増加となった。

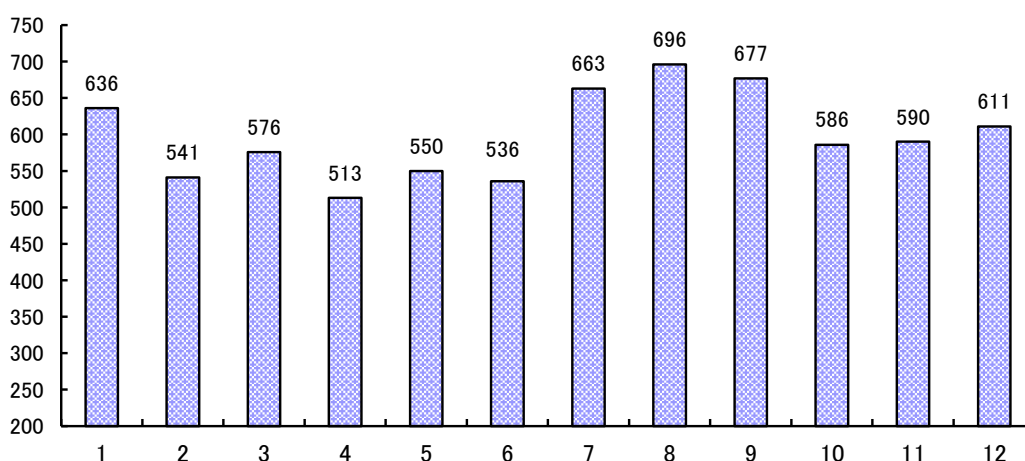
第 2 図 署別救急出場件数



月別救急出場件数

救急出場件数 7,175 件を月別に見ると、第 3 図のとおり、8 月が 696 件と最も多く、次いで 9 月、7 月の順となっている。最も少なかったのが 4 月の 513 件で、月平均にすると約 598 件となる。

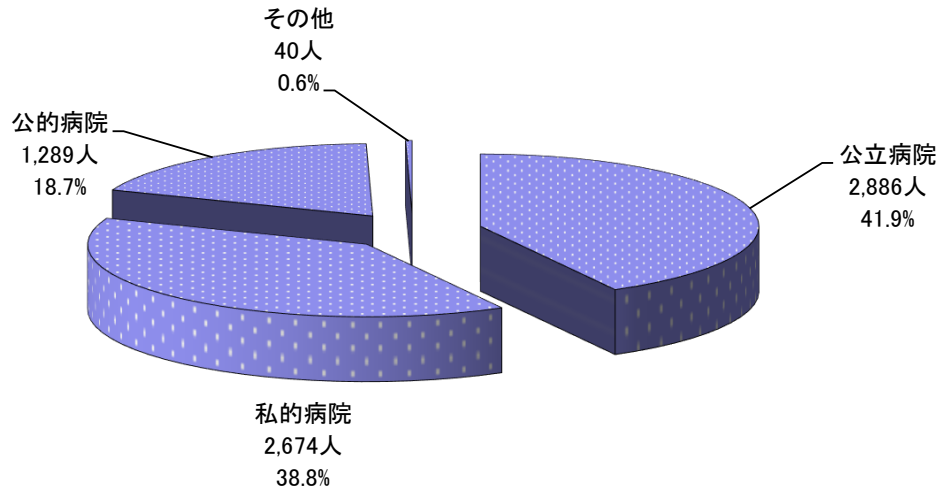
第 3 図 月別救急出場件数



医療機関別搬送人員

搬送された6,889人の搬送状況を医療機関別に見ると、第4図のとおり公立病院が2,886人と最も多く、次いで私的病院、公的病院の順となっている。

第4図 医療機関別搬送病院

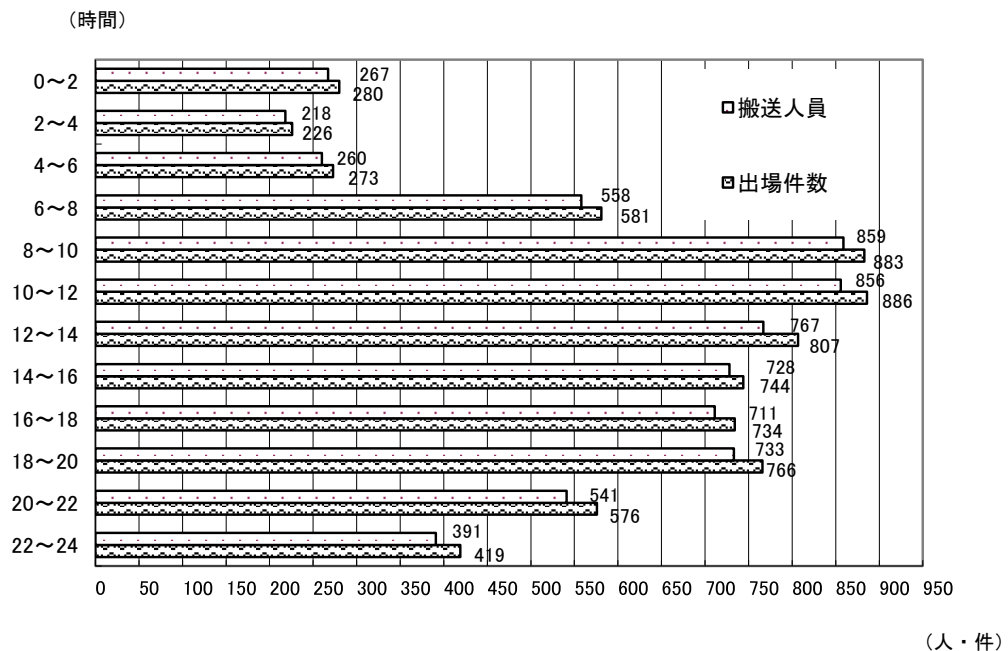


時間別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数7,175件及び搬送人員6,889人を時間別に見ると、第5図のとおりである。

出場件数は10時から12時の時間帯が886件と最も多く、次いで8時から10時、12時から14時の順になっており、最も少ない時間帯は2時から4時の226件となっている。

第5図 時間別救急出場件数及び搬送人員

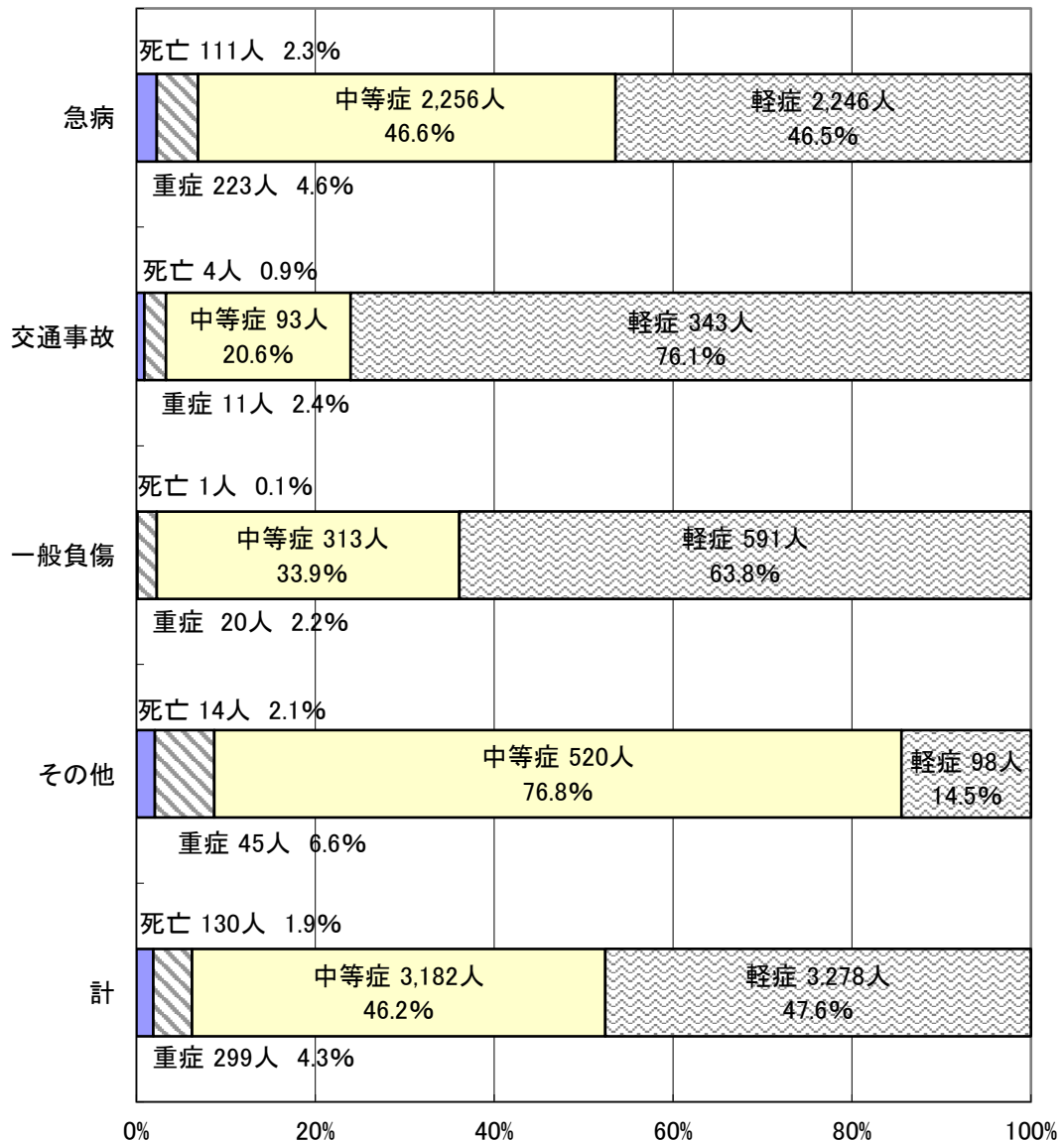


傷病程度別搬送人員

搬送人員 6,889 人の傷病程度別状況は第 6 図のとおりであり、軽症が 3,278 人と最も多く、次いで、中等症、重症、死亡の順となっている。

事故種別による中等症割合は、その他が 76.8% と最も多く、次いで急病、一般負傷、交通事故の順となっている。

第6図 傷病程度別搬送人員の状況

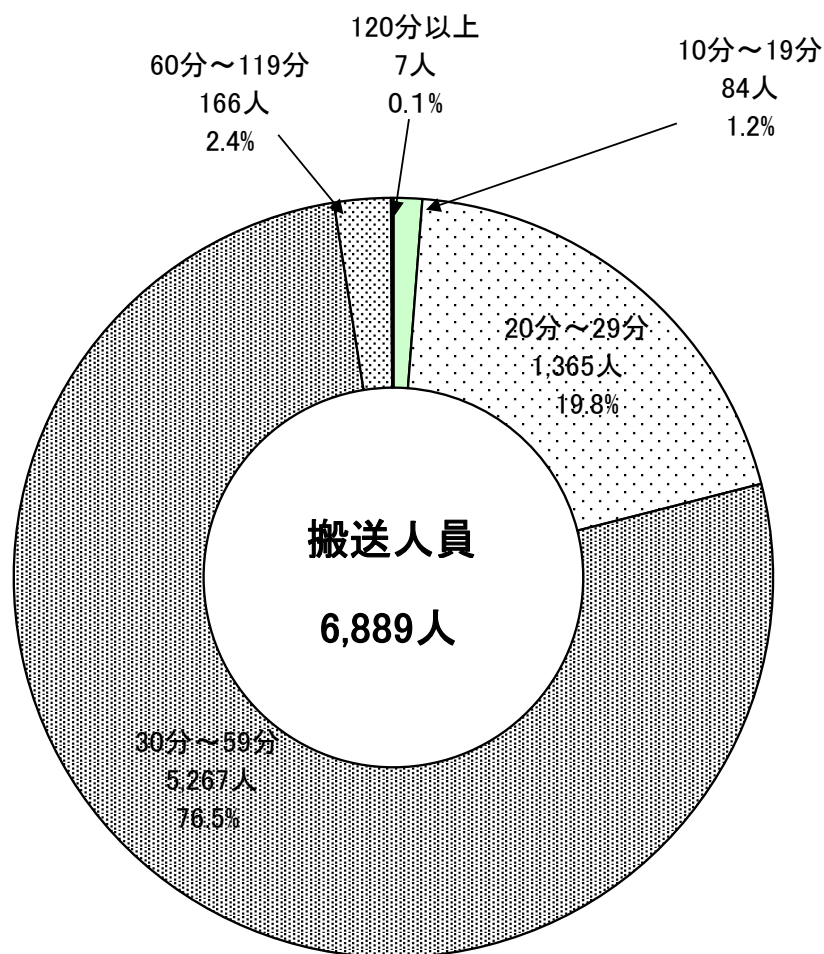


収容所要時間別搬送人員

搬送人員 6,889 人について収容所要時間（救急隊の覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間）を見ると、第 7 図のとおりである。

搬送人員の 1.2% が 20 分未満で病院に収容され、30 分未満になると 21.0% が収容されている。しかし、30 分以上は 79.0% であり、この中には管外の医療機関への搬送や転院搬送により収容まで時間を要したものが含まれている。

第 7 図 収容所要時間別搬送人員の状況



曜日別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数7,175件及び搬送人員6,889人を曜日別に見ると、第8図のとおりである。

出場件数は、火曜日が1,076件と最も多く、次いで月曜日、木曜日の順となっており、最も少ないのは金曜日の963件となっている。

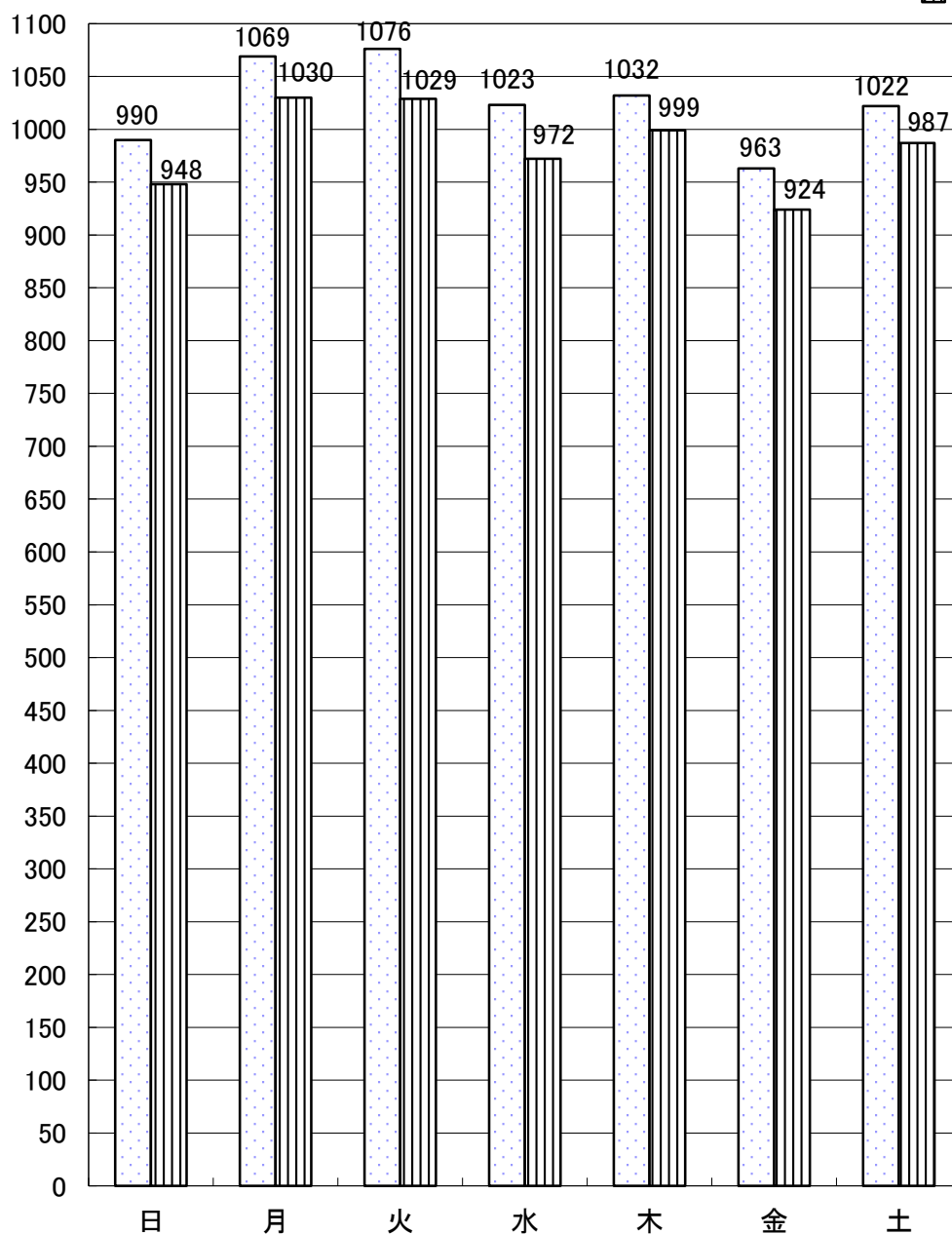
搬送人員は、月曜日が1,030人と最も多く、次いで火曜日、木曜日の順となっており、最も少ないのは金曜日の924人となっている。

(件・人)

第8図 曜日別救急出場件数及び搬送人員

□ 出場件数

▨ 搬送人員



救 助 概 況

救助出動及び活動状況は、第1表のとおりである。

救助出動件数は104件で、前年の71件と比較すると33件増加している。

出動件数を事故種別で見ると、その他の事故が33件（31.7%）で最も多く、次いで建物等による事故が24件（23.1%）となっている。

救助活動件数は47件であり、この活動により57人を救出している。

救出人員数を事故種別で見ると、交通事故が26人で全体の45.6%を占めている。

第 1 表 救助出動及び活動状況

(件)

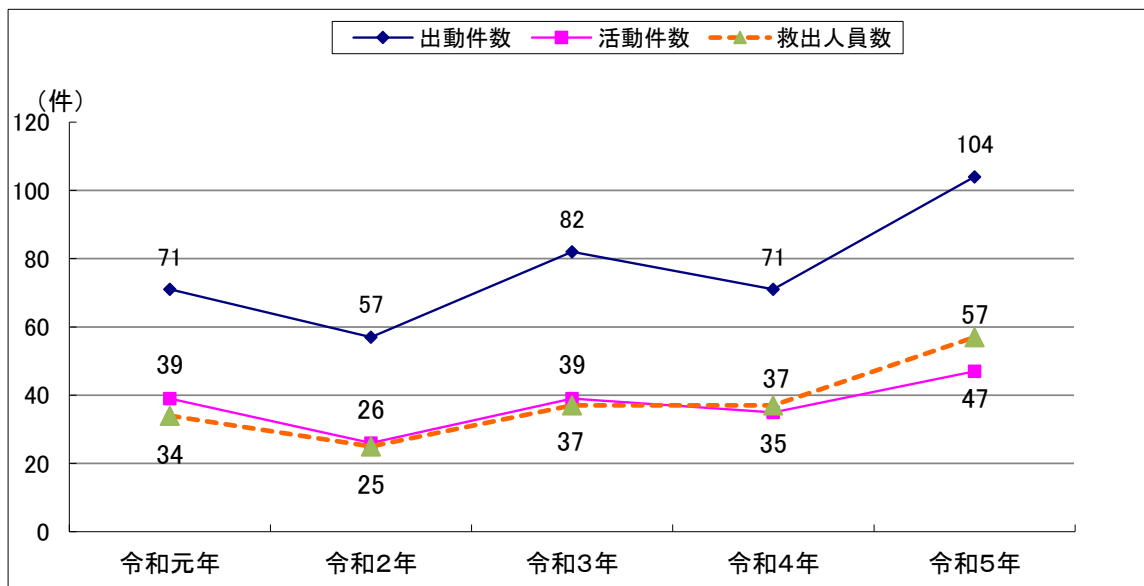
署別		事故種別	火災によるもの	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	自然災害	その他の事故	合計
本署	出動件数	令和4年		10			7			13	30
		令和5年		12	2		6	1		15	36
	活動件数	令和4年		7			7			3	17
		令和5年		9	1		4	1		1	16
	救出人員	令和4年		8			7			3	18
		令和5年		11	1		4	1		1	18
稲沢東分署	出動件数	令和4年		6		1	5			16	28
		令和5年	2	14	3		14			13	46
	活動件数	令和4年		2		1	4			4	11
		令和5年	2	6	2		10				20
	救出人員	令和4年		2		1	6			4	13
		令和5年	3	8	2		11				24
祖父江分署	出動件数	令和4年			1		3			2	6
		令和5年		3	3		2			3	11
	活動件数	令和4年			1		3			1	5
		令和5年		2	1		1				4
	救出人員	令和4年			1		3			1	5
		令和5年		3	1		1				5
平和分署	出動件数	令和4年			1		2			4	7
		令和5年	1	3	3		2			2	11
	活動件数	令和4年			1		1				2
		令和5年	1	3	1		2				7
	救出人員	令和4年					1				1
		令和5年	3	4	1		2				10
合計	出動件数	令和4年	0	16	2	1	17	0	0	35	71
		比率 (%)	0.0	22.5	2.8	1.4	23.9	0.0	0.0	49.3	100
		令和5年	3	32	11	0	24	1	0	33	104
		比率 (%)	2.9	30.8	10.6	0.0	23.1	1.0	0.0	31.7	100
	活動件数	令和4年	0	9	2	1	15	0	0	8	35
		令和5年	3	20	5	0	17	1	0	1	47
	救出人員	令和4年	0	10	1	1	17	0	0	8	37
		令和5年	6	26	5	0	18	1	0	1	57

過去5年間の救助出動件数を見ると、第1図のとおり令和5年の104件が最も多く、次いで令和3年の82件となっている。

救助活動件数を見ると、令和5年の47件が最も多く、次いで令和元年及び令和3年の39件となっている。

救出人員数を見ると、令和5年の57人が最も多く、次いで令和3年及び令和4年の37人となっている。

第1図 過去5年間の救助出動等の推移



救助出動した104件を署別で見ると、第2図のとおり稲沢東分署が46件（44.2%）と最も多くなっている。

第2図 署別出動状況

